



WEB開催 2023年8月23日（水）

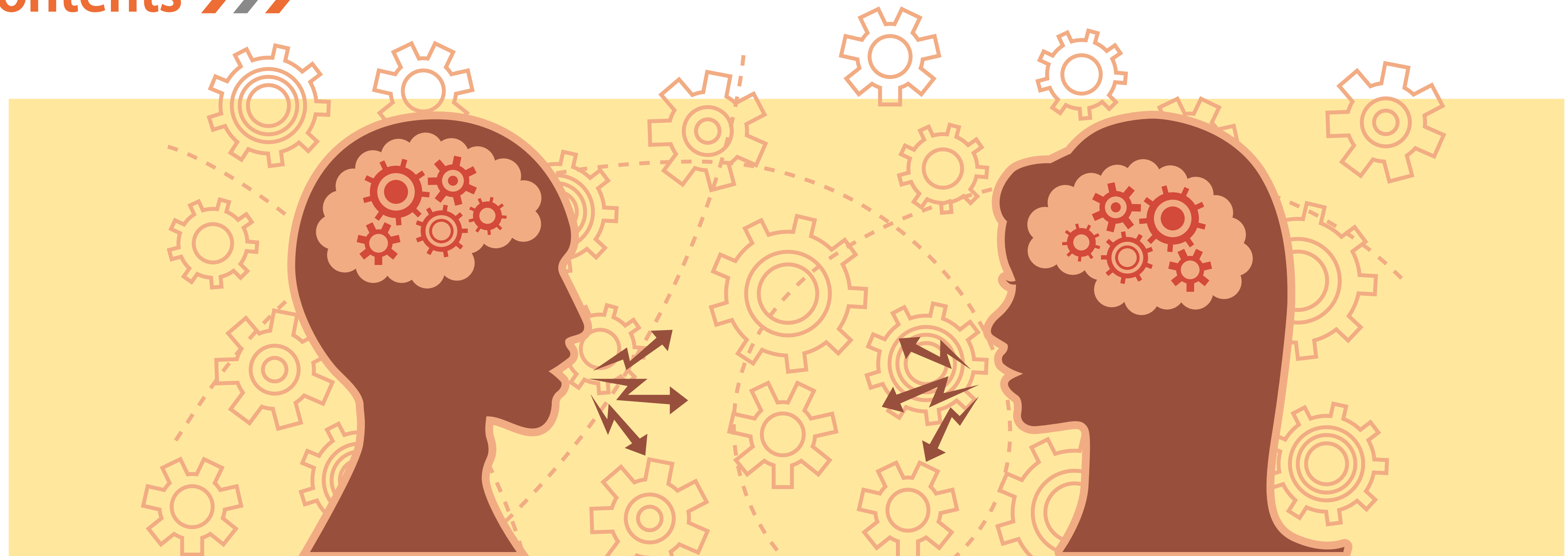
第3回 痛みのニューロリハビリテーション研究会

痛みを有する症例における身体知覚・認知異常をもたらす 脳メカニズムとリハビリテーション

開催概要

“自分の手のように思えない”，“（実際には腫れていないのに）すごく腫れているような気がする”など、痛みを有する症例には多くの身体知覚・認知の異常が生じています。そして、このような身体認知・異常は痛みを増悪させるだけでなく、運動制御の異常をもたらすことも知られています。そのため、こういった身体認知・異常に対して何らかのリハビリテーション手続きを検討しなければなりません。そこで、今回は「痛みを有する症例の身体知覚・認知にかかわる脳機能とリハビリテーション」というテーマで、痛みを有する症例ではどんな身体知覚・認知の異常が生じるのか、その背景にある脳メカニズムはどんなものか、そして、どのようなリハビリテーション手続きが必要なのかをディスカッションしていきたいと考えています。皆さんと一緒に深めていければ幸いですので、ご参加頂きますよう宜しくお願い致します。

Contents >>>



19:00-19:30

痛みを有する症例に
生じる身体知覚・認知
の特徴

畿央大学
ニューロリハビリテーション
研究センター

大住倫弘



19:40-20:20

身体知覚・認知の
異常をもたらす
脳メカニズム

名古屋大学
医学部保健学科 作業療法学専攻

吉田彬人



20:30-21:10

身体知覚・認知の
異常に必要な
リハビリテーション
手続き

甲南女子大学
看護リハビリテーション学部

壬生 彰

詳細 >>>

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センターHPをご覧ください。

問い合わせ先

畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター 大住倫弘 (m.ohsumi@kio.ac.jp)